

28年 // 月 / 8 日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 公 明 党

代表者氏名 増崎 俊宏



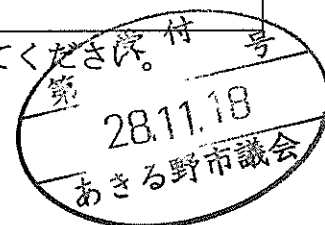
会派の（調査研究・研修）報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成28年10月21日（金）10:00～12:00 ※前日まで静岡市での研修参加のため、掛川市で前泊。
2 調査研究または 研修の場所	10月21日（金）静岡県掛川市
3 調査研究事項 または研修名	「ゆったり子育て三世代同居応援事業」について
4 参加者氏名 （ 3 名）	増崎 俊宏 松原 敏雄 田中 千代子
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

※ 自家用車を使用した場合は、必ず自家用車使用報告書を添付してください。



【概 要】

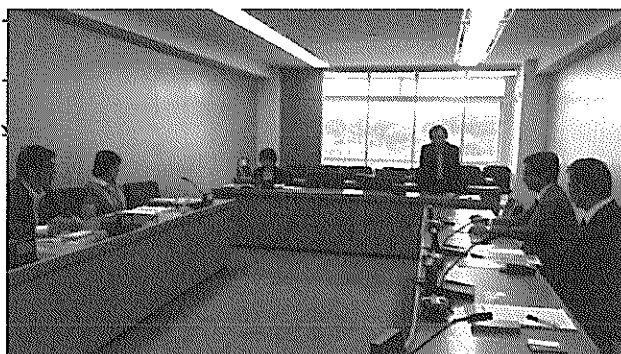
● 核家族化や少子化が進むなかで、掛川市も母親の孤立など同様の課題がある。市が目指す家庭の姿は、お茶どころを生かした「掛川お茶の間宣言」をうたい、お茶の間に家族が集い、団らんし、にぎやかにすることが奨励されている。これらの実現のために、親と子と孫が同じ場所に居住し、毎日の子育てに多くの世代・社会がかかわることができるような事業を展開しており、その取り組みの一つが「三世代同居応援事業」である。

● 三世代同居の効果

①家庭の子育て力の向上

②母親の心のゆとり増進につながり、子育て中の孤立防止に繋がる。

③世代間交流により、にぎやかで楽しい団らんが生まれ、子どもの精神的な成長に役立つ。



④待機児童の減少。などがあげられている。

● 事業内容

新たに三世代同居を開始するために住宅の新築、増改築、購入を実施した世帯に対し、費用の一部を買物券で助成。

交付額は、経費の2分の1 上限30万円

※30万円以上の事業のみ対象

※市地域協働経済支援協議会（市内商工会議所と商工会で組織する団）が発行する「地域協働経済支援買物券」による。これにより、地元消費の喚起と地域経済の活性化も図られる。

● 事業費、予算における財源措置

平成28年度 当初2,700万円

前年度精算分 1,200万円 50万円×24件

当度受付分 1,500万円 30万円×50件

【感想等】

本事業は、「家庭の子育て力・教育向上プロジェクト」の中の「教育・文化日本一」「健康・子育て日本一」を実現するために、家庭の果たす役割を重視し、そのための具体的な施策の一つになっている。住宅の新築、増改築、購入の際に、同居のきっかけ作りになればとの説明があった。

平成26年度からの事業で、翌年実施したアンケートでは「同居のきっかけになった」が58%と高かった。課題として「親世代と子世代の価値観の相違」「同居のための改築などの費用が多くかかった」という回答も多かった。

他にも子育て協働モデル事業を推進し、多くの団体が積極的に子育てを支援する社会づくりに取り組んでいる。その中には、婚活支援もあり幅広い事業への支援行われている。3世代同居事業は、子育て支援の取り組みであるが、空き家対策にも関係してくると思われ、参考になった。婚活も含めて当市でも生かしていきたい。

資料添付

